

ほくほくフィナンシャルグループから 皆さまへのご報告

皆さまには、平素よりほくほくフィナンシャルグループをお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

平成19年度の国内経済は、ゆるやかな拡大基調であったものの、改正建築基準法施行にともなう着工の遅れ等による住宅投資の落ち込みや、原油・穀物等の国際商品市況の上昇を背景とした原材料価格高騰の影響などから景気の減速感も拡がり、先行きは予断を許さない状況でありました。

当社は、平成16年9月に北陸銀行と北海道銀行が経営統合し誕生して以来、経営統合の目的である「営業力の強化」「経営の効率化」「経営基盤の安定化」に真摯に取り組んでまいりました。

平成19年度の業績につきましては、連結当期純利益386億円と業績予想を上回ることができました。当年度中に公的資金を一部返済した結果、連結自己資本比率は10.39%となりました。また、不良債権比率は3.64%となり、平成21年3月の目標としていた3%台を1年前倒しで達成できました。配当につきましては、前年より50銭増配し、2円50銭とさせていただきます。



取締役社長
高木 繁雄
(北陸銀行 頭取)

取締役副社長
堰八 義博
(北海道銀行 頭取)

	平成18年度		平成19年度
連結当期純利益	406億円	→	386億円
連結自己資本比率	10.44%	→	10.39%
不良債権比率 (2行合算+分割子会社)	4.43%	→	3.64%

戦略 1 広域地域金融グループとしての強みを生かして

当社グループは、北海道・北陸三県を主要な営業基盤とし、三大都市圏を含めた幅広い国内ネットワークを有しております。また、海外ネットワークにつきましても、中国では上海と瀋陽に駐在員事務所を設けているほか、札幌市の北京事務所、富山県の大連事務所にも行員を派遣しており、横浜銀行との「3行海外情報ネットワーク」による海外ビジネス支援業務の提携により、地銀トップクラスの支援体制を敷いております。その他には、シンガポール、ニューヨークにも駐在員事務所を設けており、より

充実したサービスを提供できるようタイやインドの金融機関とも業務提携をし、海外でのお取引先の支援の拡充を図っております。

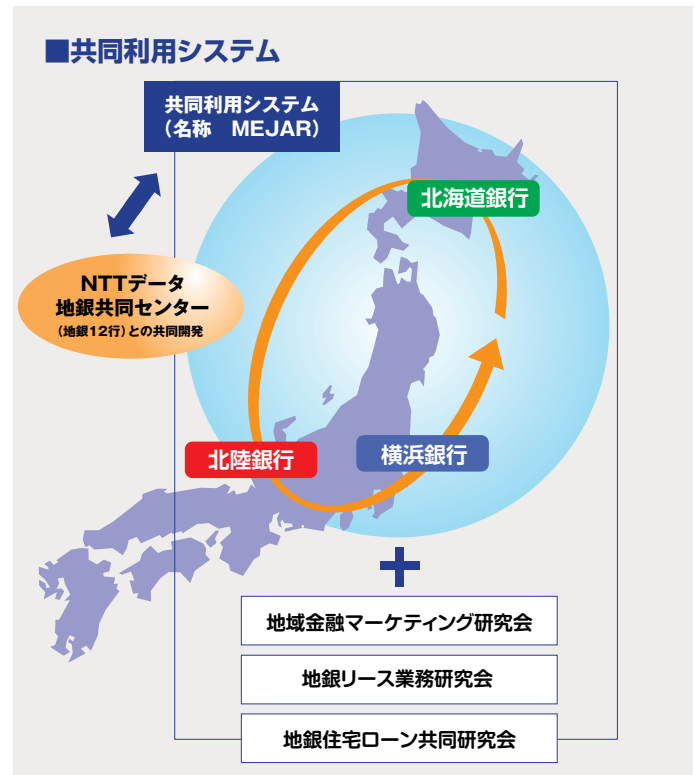
このように、他に類を見ない広域地域金融グループとしての特徴を活かし、北陸銀行・北海道銀行のノウハウ、情報網をフル活用したビジネスマッチングに積極的に取り組んでおり、地域に密着した情報提供を行うことにより、お取引先との共栄を目指しております。

戦略 2 システム共同化で業務効率化・省力化へ

ITの戦略的活用により、優れたサービスを迅速かつ効率的に提供することは、金融機関にとって重要な課題となっております。

当社グループは、横浜銀行との「3行システム共同化」を進めており、平成23年5月スタートを目指し、基幹系システムの共同利用はもとより、営業店システムやATM、インターネットバンキングなど、お客さまと直接接点のある部分も共同化することとし、事務マニュアルの統一化も進めてまいります。

また、複数地銀で「地域金融マーケティング研究会」「地銀リース業務研究会」「地銀住宅ローン共同研究会」を立ち上げ、地銀他行との連携による調査・研究を共同で行い、これまで以上にお取引先のニーズに的確にお応えする商品・サービスの拡充を図り、総合サービス力・提案力の向上に努めております。



戦略 3 企業価値の向上に向けて

「営業力の強化」「経営の効率化」を着実に果たすことにより、昨年8月と本年6月には、公的資金の一部返済を実施し、残り約600億円となりました。今後もさらなる経営努力を続け、公的資金の早期返済を目指してまいります。

また、格付投資情報センター (R&I) による格付けにおいて、

「ほくほくFG」「北陸銀行」「北海道銀行」が「A (シングルAフラット)」となり、当社グループのこれまでの取り組みが評価された結果と考えております。

引き続き、財務基盤の強化に努めてまいります。

未来へ期待の高まる北陸・北海道ネットワーク

本年7月には、当社の主要営業基盤である、北海道と北陸において、大きなイベントがありました。

一つは、北海道洞爺湖町で開催された「北海道洞爺湖サミット」であり、主要国首脳が会し地球温暖化対策をはじめとする国際社会の諸課題について話し合われました。北海道全体がサミットの成功に向け協力体制を敷き、当社グループも積極的に協力いたしました。

もう一つは、「東海北陸自動車道」の全線開通です。これにより、中京圏と北陸地区の陸路による輸送時間が大幅に短縮され、物流の迅速化により、経済交流の活発化が見込まれております。当社グループは、中京圏と北陸地区の経済交流を活性化するために、「ビジネス交流会」を開催するなど、お取引先のビジネスマッチング支援に注力しており、今後も積極的に取り組んでまいります。

おわりに

当社は、「地域共栄」「公正堅実」「進取創造」を経営理念とし、着実に力強く前進しております。金融機関を取り巻く環境は、規制緩和が進み競争が一段と激化しておりますが、お取引先から信頼され、選ばれる金融機関となるよう、「地域のお客さまの

繁栄に貢献し、ともに発展しつづける」ことを目標に、お取引先とのリレーションを一層強固なものとし、役職員一同さらなる企業価値の向上に取り組んでまいります。皆さまには、一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。